



今、技術者に求められるもの

～創造＝想像＝空想からの発展～

北海道技術士センター 第5代会長
技術士（建設部門）

館 谷 清

昭和61年度技術士全国大会（東京）での記念講演は千葉玄弥氏（当時、新技術開発事業団）の話。簡単に言うと今迄我々が目標としてきたのは中世貴族の文化、即ちマンション＝館（やかた）に住み、馬車に乗る等でそれがマンション（日本ではコンクリート長屋だが）に住み自動車に乗る今の生活だ。今その目標の文化に到達してしまったこれからは何か新しい文化を探さないと行き詰まるぞというものだった。

日本古来文化の一つに「連歌（れんが）」（二人以上の人が短歌の上の句、下の句を順次詠み連ねてゆくもの）がある。これを作るのは古今の和歌、俳句等に通じそれをメタファーとして想像力を駆使して歌を作ってゆくというかなり高度の遊びであるらしい。

要するに文化の根底には想像力が不可欠であると言う事だろう。我々技術者の周囲にはあまりにも想像力に欠けている事が多過ぎないか。

（例－1）「不法駐車」

一頃「道路は駐車場でない」と目くじら立てて怒っていた人もいた様だが、そもそも道路（この場合車道だけの講義にして）はある目的の場所に行くために車を走らせているわけでそこに着けば当然車は止まる筈だ。即ち、止まる事を目的に走っているに過ぎない。それを、止まっていることに怒るのも妙な話だ。近頃は道路費で駐車場作りもやっている様だ

がもっと努力する必要がある。

（例－2）「河川に新値なし」

河川には、降雨量（予測、実測とも）、浸透、流失、流量観測（H-Q曲線作り含め）水位……等多くの数値があるが、そのどれも真値（らしいもの）と推定するにはかなりの誤差がある事は周知の通りであろう。しかもそれぞれの誤差がどう評価すべきか分からない。ところが、技術者は一旦数値化されるとそれがあたかも真値として議論が進んでいく。これも一度俯瞰的に全体を想像してみても議論すべきではないか。

（例－3）「空港計画」

空港に限らずこれからのプロジェクトの計画立案に当たって想像力は不可欠であろう。そもそも何年後を目標とするのが先ず問題だ。今大きなプロジェクトなら着工から完成迄最低十年場合によっては二十年かかるのは当たり前の時代だ。その時の人口、構成等は一応今迄のトレンドで推定できるかも知れない。しかし、その時の各年代別の人の物の考え方、行動、経済力等はせいぜい想像するより仕方がない。空港なら飛行機の機材の進歩、管理システムの変化（今の様に入国管理に長い列を作って待つなんて時代遅れも甚だしい。いずれ道路を歩くだけで本人確認、病気の有無迄わかるようになるのではないかと）等々それが全て空港設計に影響する筈だ。

(例－4)「マニュアルに頼るな」

近頃、なんでも「マニュアル」が作られておりその最たるものは「危機管理マニュアル」だ。私見だが「マニュアル」で処理出来るのは「危機」ではないのではないか。せいぜい「非常な事態」程度の話で「危機」とはマニュアルで処理出来ない事態をいうのではないか。その場合必要なのは「想像力」であり「想像力」なしでは危機処理に対応出来ないだろう。

マニュアルで出来る事は普通の設計者に委せて技術士はマニュアルに書いてない事に踏み込んで物を考え、設計する必要があると考える。

(例－5)「信号有視族」

技術例ではないが、5～6年前札幌で小学生が「青信号」で走り出し丁度曲がって来た電車（これも信号に従って来た）に轢かれるという事故があった。日本の子供は幼稚園の時からだ「信号を守れ」と言う一言を徹底的に教え込まれている。ヨーロッパに行った日本人が一様に不思議に思うのはヨーロッパ人（ドイツ人は少し違うが）の歩行者はほとんど信号を守らない事であろう。信号が赤でも自分で左右を見て安全と思ったらスイスイ渡ってゆく（英語でjaywalker＝信号を無視して歩く人という単語がある）。これを見て「ヨーロッパ人は公德心が無い」と怒るのは日本人位のもので彼等は「安全は自分で守るもの信号だけ見て歩く日本人の方が余程おかし

い」と思っている。

こういう紙に書いた物だけを後生大事に想像力を欠いた人種が「信号有視族」だ。憲法9条を気球にブラ下げて日本の上空に吊しとけばミサイルが避けて通ると思っている類いか。

文化を創造するには想像力が基本、想像力を養うには「空想力」をつける事だと思う。かの空海も空想力を実学に実践したと言われる。

皆さんも創造＝想像＝空想のサイクルを回して一味違った技術者になろう。

～発想の転換的落語一席：世の悪妻に告ぐ～

低金利で嘆いている人々への朗報

年中妻から「稼ぎが少ない」とDV（Domestic Violence）を受けている御主人方へ。

金利5%時代に年収500万円の収入を持ち帰る旦那の時価は約1億円である。現在の金の価値（03年5月現在、純金1グラム約1,400円）で換算すると体重70kgの人間と等価である。全身（一部でない）が純金で出来てる旦那だよ。

さて、今の金利0.03%（定額郵貯1年物）で計算すると驚くなかれ旦那の時価は150億円に跳ね上がる。純金の仏様が150体も家にあるという事は三十三間堂だ。「車より高い物が貴女の家にあるのか」と怒鳴りたい。世の悪妻どもよ、もっと旦那を大事にして床の間に飾って毎日拝んでしかるべきだ。